

東京大学 × 日本証券業協会

大学債 / ソーシャルボンドカンファレンス

初の大学債 発行の意義と SDGsへの貢献

東京大学が2020年10月、東京大学FSI債をソーシャルボンドとして200億円発行しました。2020年のソーシャルボンド国内公募発行額は、8,000億円を超え、2019年発行額を大きく上回るなど、本国ソーシャルボンド市場は広がりを見せています。

そこで今回、東京大学と日本証券業協会の共催により、大学債（東京大学FSI債）の社会的意義、大学の資金調達手段としての債券の役割、大学債のソーシャル性・SDGsへの整合性、ソーシャルボンドの現状と課題等といった内容をテーマにしたカンファレンスを開催します。

<プログラム>

10:30 歓迎・開会挨拶



東京大学 総長
五神 真



日本証券業協会 会長
鈴木 茂晴

10:40 基調講演・講演



基調講演
東京大学FSI債（東大債）
発行の意義
東京大学 副学長
坂田 一郎



講演
SDGs債
特にソーシャルボンドの意義
日本証券業協会 副会長・専務理事
岳野 万里夫

11:00 パネルディスカッション

大学債発行の実際、 市場の反応、今後の課題

モデレーター

日本証券業協会 特別顧問 川村 雄介

パネリスト

・東京大学 副理事（財務制度改革、資金・資産運用） 平野 浩之氏

・株式会社日本格付研究所 サステナブル・ファイナンス評価部長
チーフ・サステナブルファイナンス・アナリスト 梶原 敦子氏

・文部科学省 国立大学法人法 改正等担当者（調整中）

・大和証券株式会社 デット・キャピタルマーケット部
オリジネーション課 米上 広成氏

30min ディスカッション 30min 質疑応答

日付

2021年 1月15日 金

時刻

(開始) 10:30 ▶ 12:00

参加登録はこちら



方式

オンライン
<https://webform.adm.u-tokyo.ac.jp/Forms/1605684760/>

主催



日本証券業協会
JSDA Japan Securities Dealers Association

※予告なく記載内容は変更される場合があります。
※新型コロナウイルス感染症の流行状況を鑑み、オンラインのみの開催といたします。